

おおむたの 新しい総合計画づくり まちづくり市民ワークショップニュース

発行：2014 年 12 月 大牟田市企画総務部総合政策課
大牟田市有明町2丁目3 0944-41-2501



当日の流れ

1. 主催者挨拶
2. オリエンテーション
(1) アクティビティ
(2) 本日の進め方について
3. 将来像実現に向けた事業や取組み等の
テーマについて提案
4. 3のテーマごとにグループ分け・議論
5. グループごとの意見まとめ・発表



第5回ワークショップ

日時：平成 26 年 11 月 30 日（日） 午前 9 時 30 分～正午

場所：市民活動等多目的交流施設「えるる」 2 階 小・中研修室

第 5 回大牟田市ワークショップでは、第 4 回で導き出した将来像に近づくための具体的な事業や取り組みについて話し合っていました。話し合いにあたっては、参加者から自らが話し合いたいテーマを提案してもらい、そのテーマに賛同する人で班を作り、自由に意見交換をする方法で実施。5 つの班に分かれて行いました。次回は 12 月 21 日（日）を予定しています。

◆グループごとの意見まとめ “ ” はテーマ

1 班 “世代間交流ができる仕組みづくりを考えよう”

あいさつが交流の第一歩

- ・あいさつが人と人をつなぐ

「遊び」がひとつのキーワード

- ・年代を超えた遊ぶ会の結成
- ・ボランティアでつながる
- ・共通の趣味で世代間をつなぐ
- ・学校を活用した昔遊びの場の創出



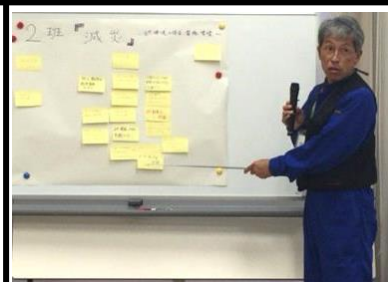
2 班 “減災～自然環境の保全・整備・管理～”

災害防止のために

- ・インターネットで得た天気予報等の情報を消防団や市が取り込む

自然に興味をもってもらうために

- ・定期的や長期的に自然観察隊を結成、自然を知ってもらう
- ・各学校や公民館等で自然に関する情報を掲示する



3 班 “「見える化」の取り組みと仕組み”

市民が誇りを持つまちにしたい

- ・マップづくりで「見える化」 モデル地区を作り、市全体に広げていく
- ・大牟田の暗いイメージを払拭する魅力づくりや雇用の場を設ける
- ・明るい印象を持たせるためにシンボルカラーを作ってアピールする
- ・世代間で学ぶ場づくり、学びが楽しくなるしかけづくり



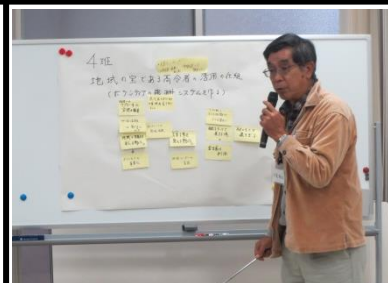
4 班 “地域の宝である高齢者の活用の仕組み(ボランティアの報酬システムを作る)”

「見える化」を進める

- ・個人ができることを見える化
 - ・地域でやっていることを見える化
- } お互いの理解が深まる

より親密な関係づくりに向けて

- ・身近なテーマや楽しいことをきっかけに集まる
- ・空き家を活用



5 班 “地域で子供を見守りながら、在宅ワークでき、安価で住めるまち”

人口を増やすことが急務→子育て世代や若者に定住してもらう→仕事が必要

→「地域の特産品をインターネット通販する在宅ワーク」を提案

- ・宅地の無償提供など思い切った補助で安く住めるまちを PR
- ・大牟田に住み続けたいと思えるよう「人生を学ぶ場」として、学校を活用
- ・市役所に「大牟田を良くしたい課」の設置

